

# 第 14 回学術大会大会長賞受賞記念講演

## 磁力を用いた根管からの破折ファイル取り上げ

稲本 雄之

大阪歯科大学口腔治療学講座

根管内の破折ファイル除去にはマイクロスコープと超音波の併用が有用であることは周知の通りであり、ファイルを引き抜くためにループや瞬間接着剤などを用いると便利なこともよく知られている。一方、根管から抜け出して髄床底まで出てきた破折片の取り出しについては、多くの場合ピンセットが用いられていると思われるが、把持が不確実なため落下させる懸念がある。バキュームでの吸引は容易であるが、破折片の形態を確認できないのが難点である。演者は昨年（2017年）の第14回本学会学術大会において、ファイル破折片の取り上げに磁力を応用する手法について報告した。その手法は以下の通りである。

磁力装置：ステンレス製根管治療用超音波チップ（SS）とマグネットピックアップツール（MT）を接続して作成する（SSMT）。

除去手順：マイクロスコープ観察下で根管内に食い込んだ破折ファイルに超音波振動を与え、食い込みが緩んでルーズになった状態、あるいは髄床底まで破折片が出てきた状態を作り出す。その後、SSMTで釣り上げる。

内容はいたってシンプルで、あらためて考察を加えるほどの「モノ」ではない。そこで今回は、根尖孔から破折ファイルが一部付き出たケースなど、昨年とは別症例を加えて報告したい。

1992 大阪歯科大学卒業

1998 大阪歯科大学大学院修了（歯科保存学専攻）

日本顕微鏡歯科学会 認定医

日本歯内療法学会 専門医

日本歯科保存学会 専門医

大阪歯科大学附属歯科衛生士専門学校 非常勤講師

兵庫県歯科医師会附属兵庫歯科衛生士専門学院 非常勤講師